

申 込 者 調 書

事業者名 又は 氏 名		代 表 者	役職名 氏 名	
事務所所在地				
設立年月日 (法人及び団体の場合)	年 月 日	資本金 (法人の場合)	千円	
農林漁業等主な種別	6次化部門の開始時期			
電話番号	従業員数及び 家族労働者数 (実人数： 人)		1次部門	人
FAX番号			2次部門	人
E-mail			3次部門	人
事 業 概 要 (現状：令和 年度)				
1次部門	全体	経営面積：		
	売上1位	品目：	面積または頭数：	生産量：
	売上2位	品目：	面積または頭数：	生産量：
	売上3位	品目：	面積または頭数：	生産量：
2次部門	加工製造商品	商品名：	主な原材料名：	
	製造加工施設	施設名：	棟数：	
3次部門	自社販売	自社直売施設・自社飲食店・オンライン(自社サイト)・その他()		
	出荷販売	JA・小売店・直売所等・飲食店・ホテル等・オンライン・その他()		
	主な販売先			
	自社飲食店 宿泊施設	形態：	年間来客数：	
	自社体験施設	形態：	年間来客数：	
総合化事業計画の認定 (該当するものに○を記入)		認定申請予定		認定済み(取得日 年 月)
これまで活用した補助制度や制度資金 (年度、事業(資金)名、施設、設備名)				
活用予定の補助制度や制度資金 (年度、事業(資金)名、施設、設備名)				

(以下は、申請があった後ヒアリングを実施しますので、可能な範囲で記入してください。)

<p>1 現状認識</p> <p>現在の生産・経営状況における課題を記入してください。</p>
<p>2 取組の目的と背景</p> <p>自ら生産する農林水産物を活用し、経営改善を目指す取組（農林水産物加工品、消費者への直接販売、実需者との契約取引、輸出、農林漁家民宿経営、農林漁家レストラン経営等）を行う目的と背景について具体的に記入してください。</p>
<p>3 取組の構想（将来ビジョン）</p> <p>自ら生産する農林水産物を活用し、経営改善を目指す取組（農林水産物加工品、消費者への直接販売、実需者との契約取引、輸出、農林漁家民宿経営、農林漁家レストラン経営等）の構想について記入してください。</p> <p>（自ら生産する農林水産物の特徴、どのような商品・サービスを構想しているのか、どこで、どのような相手に、どのような方法でなど具体的に）</p>
<p>4 最終的に目指す目標（売上高、売上総利益、生産規模、事業の拡大など）を記入してください。</p> <p>（直近の決算をベースに何年後にいくら、あるいは何%の増加を目指すなど）</p>
<p>5 6次産業化に取組む体制について、記入してください。</p> <p>（事業担当者の配置、新規雇用者の見込み、加工は内製なのか外注なのか、販売は誰が担うのか、連携先など）</p>

6 目標の実現に向けて相談したいことを記入してください。

(添付書類)

1 農業経営等を行う法人の場合

(1) 履歴事項全部証明書

(2) 直近3期分の決算報告書（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、注記表）の写し

2 農業経営等を行う個人の場合

(1) 直近3年分の所得税の確定申告書及び青色申告決算書（又は、収支内訳書）の写し

3 農業者等が組織する団体の場合

(1) 直近の通常総会議案書等

(2) 履歴事項全部証明書

(3) 構成員に課税されている場合には、直近3年分の各構成員の所得税の確定申告書の写し。

団体に課税されている場合には、直近3期分の決算報告書（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、注記表。）写し